

JA全農えひめ情報

あひんど

■特集

「2014愛媛みかん大使」決まる

9

2014・September





「焼肉の日」 イベント

(松山市)



8月29日は、全国焼肉協会が平成5年に制定した「焼肉の日」。JA全農えひめは、「焼肉の日」を通じて愛媛県産系統ブランド肉の伊予牛「絹の味」と「ふれ愛・媛ポーク」の美味しさをPRしようと、リジエール松山屋上ビアガーデンで、「焼肉の日イベント」を開催しました。

会場の特設コーナーでは、JA全農えひめ職員と畜産SP（セールスプロモーション）レディが、「今日は語呂合わせで焼肉の日です。これからも、愛媛県産ブランドの伊予牛『絹の味』と『ふれ愛・媛ポーク』をよろしくお願いします」と呼びかけ、ビアガーデン来場者に、伊予牛「絹の味」黒毛和牛（肩ロース）と「ふれ愛・媛ポーク」（肩ロース）の焼き肉計約50kg分を振る舞いました。

来場者の皆さんは「今日はラッキーです」と焼肉を受け取り、「柔らかくて美味しい」「来年もぜひやってほしい」と笑顔を見せていました。

会場内にはのぼりやポスターを掲示したほか、各テーブルにJA全農などが取り組んだ「8月29日焼肉の日キャンペーン」のリーフレットを置き、イベントをアピールしました。

あぐり〜ど

September 2014

CONTENTS

全農グループの経営理念

私たち全農グループは、
生産者と消費者を安心して結ぶ
懸け橋になります。

私たちは「安心」を3つの視点で考えます。

- 営農と生活を支援し、元気な産地づくりに取り組みます。
- 安全で新鮮な国産農畜産物を消費者にお届けします。
- 地球の環境保全に積極的に取り組みます。

今月の表紙



縁側にススキや秋の七草を飾り、団子、里芋、栗やイチジクを供えて、収穫に感謝しつつ、月見会。スズムシが鳴く庭に秋の野花が夜風に揺れて、ウサギの親子も月見観賞。月のウサギとテレパシーでコンタクトをとりあっているのかな？ロマンも広がる中秋の名月。明るい月あかりはみんなの笑顔を照らしています。

●表紙：月見ウサギ
はら ふみ(イラストレーター)

※「あぐり〜ど」は、「愛媛農業 (Agriculture)」を「リード (Lead) する」という意味と「心を一にする (Agreed)」という意味を込めています。

農の風景Vol.165

「焼肉の日」イベント (松山市)

2

〈特集〉

「2014愛媛みかん大使」決まる
愛媛みかん大使が
愛媛産柑橘をPRしていきます。

5

THE・ねっとわーく

7

統計BOX

8

J A全農えひめグループ7社平成26年度役員体制

10

ふるさと ESSAY VOL.233

世の中、まんざら
捨てたもんじゃない〜創立期〜
村松 つねさん

12

TOPIC NEWS

16

READERS通信

NOW NOW COOKING

〈今月の素材〉 栗

JA全農えひめ

ホームページ

<http://www.eh.zennoh.or.jp>

■JA全農えひめ「えひめの食」企画
<http://www.eh.zennoh.or.jp/ehimenosyoku/>
※「えひめの食」では、旬の農産物情報を発信しています。

◆株式会社 えひめ飲料
<http://www.ehime-inryo.co.jp>

◆株式会社 えひめアイパックス
<http://www.iyokkora.jp/>

◆株式会社 えひめ物流
<http://www.jat-ehime.co.jp/>

◆株式会社 えひめフレッシュフーズ
<http://fresh-ranran.jp/>

◆株式会社 ひめライス
<http://www.himerice.jp/>

◆株式会社 えひめエネルギー
<http://www.ja-ehimeene.co.jp>

愛媛みかん大使が 愛媛産柑橘をPRしていきます。

J A全農えひめ果実課は、8月22日、愛媛産のみかん・伊予柑など柑橘類の消費宣伝・PR活動を担う「2014愛媛みかん大使」4人を任命しました。

みかん大使による活動は、昭和34年度から実施しており、今回任命した4人は56代目の「愛媛みかん大使」です。

2014愛媛みかん大使4人は、これから1年間産地を代表して、各種イベントや販促活動を通じて、農家の想いや声とともに全国の皆さんに愛媛が誇る柑橘類をPRしていきます。

農家の想いを伝えながら
消費宣伝に取り組みます

J A全農えひめ果実課は、8月22日、松山市のJ A愛媛で、愛媛みかん・伊予柑など愛媛産かんきつをPRする『2014愛媛みかん大使』4人を任命しました。

2014愛媛みかん大使は、①堀田咲さん（ほった さき・24歳・大洲市在住・団体職員）、②河野耶来

さん（こうの やこ・18歳・松山市在住・大学生）、③白石千尋さん（しらいし ちひろ・22歳・松山市在住・団体職員）、④武智真由さん（たけち まゆ・20歳・松山市在住・大学生）。

任命式では、J A全農えひめ運営委員会の岡本健治会長が、大使一人一人に任命状と20万円の賞金目録を手渡し、「愛媛県を代表し農家の想いを全国の消費者に伝え、愛媛みかんをPRしてください」と激励しま

した。

前年の大使からタスキを受け継いだ4人は、「愛媛の柑橘の味の素晴らしさ・魅力やその中に詰まっている農家の皆さんの日々の努力や熱意を全国の皆さんに伝えていきたい」「少しでも多くの方に愛媛みかんを食べていただけます」などと笑顔で抱負・意気込みを話していました。



▲2014愛媛みかん大使の皆さん（右から＝堀田さん、河野さん、諏訪県本部長、岡本会長、白石さん、武智さん）

56代目の「みかん大使」です！

みかん大使による活動は、昭和34年度から始めており56回目、一般公募は昭和62年度から実施し28回目となります。

今年は、昨年を14人上回る120人の応募があり、書類審査を通過した19人が面接審査（8月12日開催）に進み、JA全農えひめ、愛媛県果樹同志会、マスコミ関係者ら審査員15人が「印象（好感度）」「知性」「容姿（姿勢等）」などを総合的に審査し4人を決定しました。

4人は、接客サービスや柑橘・産地の知識など基礎研修を受け、10月



16日松山市で開催される「愛媛県園芸大会」で県内の生産者・JA関係者にお披露目します。その後は、11月1日のレインボーフェスティバル（松山市大可賀のアイテムえひめで開催）、11月上旬から東京・大阪で「愛媛みかん消費拡大キャンペーン」などで活動。年明けからは「愛媛いよかん大使」として、来年1月下旬から札幌・首都圏・京阪神を回る「愛媛いよかん全国縦断キャンペーン」のほか、「オレンジデー・オレンジロード関連イベント」など、来年8月末まで、各種イベントや販促活動、テレビ出演等を通じて愛媛産柑橘をPRしていきます。

2014愛媛みかん大使

4人のプロフィール

2014愛媛みかん大使任命式



ほった さき
堀田 咲さん 大洲市在住・団体職員

- 【趣味】 ジョギング・ボランティア
 【特技】 クラリネット
 【抱負】 生産者の方々の努力と熱意の詰まった大好きな愛媛の柑橘をPRできて大変光栄に思います。一人でも多くの方にその魅力を届け、愛媛の活力となれるように全力で取り組みます。よろしくお願いします。



こうの やこ
河野 耶来さん 松山市在住・大学生

- 【趣味】 ピアノ・料理・ショッピング
 【特技】 英会話
 【抱負】 英会話で培ったコミュニケーション能力と持ち前の明るさを生かし、農家の方々が丹精込めて作られたふるさと愛媛の柑橘を世界中に広めていきたいと思っています。よろしくお願いします。



しらいし ちひろ
白石 千尋さん 松山市在住・団体職員

- 【趣味】 友人とカフェに行くこと・読書
 【特技】 ダンス
 【抱負】 農家の方たちが丹精込めて作られた全国に誇る愛媛の柑橘を県内外の方たちにしっかりPRし、1人でも多くの方に味わっていただけるよう努力します。1年間この4人で力を合わせ一所懸命頑張ります。



たけち まゆ
武智 真由さん 松山市在住・大学生

- 【趣味】 料理・ショッピング・ウォーキング
 【特技】 料理・早起き
 【抱負】 愛媛みかんの良さ、また新しい魅力をより多くの方々に知っていただき、身近な食べ物になってほしいです。そして私もみかんをたくさん食べて美容と健康を保ち、1年間笑顔で頑張ります。

THE

ねつとわーく

「新米キャンペーン実施中！」 「キャンペーンキャラクター」に友近



31日まで、新米キャンペーンを実施しています。
キャンペーン名称は、「ひめライ

スを食べ、えひめの恵みを当てよう！」「伊予牛「絹の味」「ふれ愛・媛ポーク」「紅まどんな」「あまおとめ」といった愛媛の特産品などが計700人に当たります。
キャンペーンイメージキャラクタ

えひめの人へ、えひめの新米。

ひめライス新米キャンペーン 合計700名様に当たる！
ひめライスを食べ、えひめの恵みを当てよう！

【キャンペーン必勝期間】2014年8月25日(月)～10月31日(金)

A 10 伊予牛「絹の味」 高級和牛焼肉コース 約280g	B 10 ふれ愛・媛ポーク しゃぶしゃぶ用 約100g	C 10 鯛っご地鶏 高級ローストチキン 約1.8kg	D 10 きじ鍋・きじ飯セット (きじ鍋)約100g、(きじ飯)約100g	E 10 健康真鯛 手造り刺し身 刺し身約80g
F 10 釜あげしらす 約1kg	G 10 紅まどんな しゃぶしゃぶ用 約100g	H 10 あまおとめ 約1kg	I 10 宇和島じゃこ天 約1kg	J 10 七折小梅 約1kg

Wチャンス
600名に当たる!

- Aコース 伊予牛「絹の味」黒毛和牛焼肉用コース
- Bコース 「ふれ愛・媛ポーク」しゃぶしゃぶ用コース
- Cコース 「鯛っご地鶏」
- Dコース 「きじ鍋・きじ飯セット」
- Eコース 「健康真鯛 手造り刺し身」
- Fコース 「釜あげしらす」
- Gコース 「紅まどんな」
- Hコース 「あまおとめ」
- Iコース 「宇和島じゃこ天」
- Jコース 「七折小梅(梅干し)」
- ▼ Wチャンス

- の中から抽選で600人にWチャンス
- (1) 『ひめライス』の米袋に付いている「ひめマーク」を切り取り、2kg分以上(もち米1・4kg) 1枚1口として、応募ハガキ(リーフレット)または郵便ハガキに貼付の上、①ご希望の賞品コース(A～Jコースの内1つを選択)、②郵便番号、③住所、④氏名、⑤年齢、⑥電話番号、⑦購入店、⑧ひめライスに対するご意見・ご感想を明記のうえ、ご応募ください。
 - (2) 応募先 伊予郡松前町大字徳丸字五屋敷 771-25 係
 - (3) ひめライス「新米キャンペーン」係
 - (4) 応募締切り 10月31日(当日消印有効) 抽選・当選発表 11月中旬に抽選を行い、賞品の発送をもって当選発表にかえさせていただきます。

を起用し、テレビCM、ポスター、リーフレット・新聞広告などを通じてPRし、「愛媛の新米」を味わってもらい、県内産米の消費拡大と『ひめライス』ブランド強化を図ります。

【キャンペーン名称】
ひめライス新米キャンペーン「ひめライスを食べ、えひめの恵みを当てよう！」

【実施期間】
平成26年8月25日～10月31日

【賞品】
▼ A～Jコース各10人(計100人)
○ Aコース 伊予牛「絹の味」黒毛和牛焼肉用コース

スとして、「愛媛県産にこまる2kg」をプレゼント。

【応募方法】
(1) 『ひめライス』の米袋に付いている「ひめマーク」を切り取り、2kg分以上(もち米1・4kg) 1枚1口として、応募ハガキ(リーフレット)または郵便ハガキに貼付の上、①ご希望の賞品コース(A～Jコースの内1つを選択)、②郵便番号、③住所、④氏名、⑤年齢、⑥電話番号、⑦購入店、⑧ひめライスに対するご意見・ご感想を明記のうえ、ご応募ください。

「ポンジュース生誕45周年記念 キャンペーン」実施中!

(株)えひめ飲料

（株）えひめ飲料は、9月から抽選で1,000人にPOMこだわりギフトをプレゼントする「ポンジュース生誕45周年記念キャンペーン」を実施中です。

今回のキャンペーンは、「ポンジュース」が昭和44年、他の飲料メーカーに先駆け、「天然果汁100%ジュース」として発売以来45周年を

迎えたことから、POMポンジュースを購入していただいているお客様への感謝の気持ちを込めて、実施するもの。同社では、キャンペーンを通じて、「ポンジュース」の販売拡大をめざします。

賞品のこだわりギフトは、45周年記念オリジナルクオカードと人気のPOM製品9種・計17本、「ポンジュースグミ」(36g)2袋が入っ

たキャンペーン限定セットです。

■キャンペーン名称

ポンジュース生誕45周年記念キャンペーン

■賞品

45周年記念オリジナルクオカードと「ポンジュース」(350mlペットボトル)2本など人気のPOM製品9種・計17本、「ポンジュースグミ」(36g)2袋をセットにした「POMこだわりギフト」を抽選で1,000人にプレゼント。

■対象商品

- ・POMポンジュース(1ℓペットボトル・500mlペットボトル)
- ・POMアップルジュース1ℓペットボトル
- ・POMグレープジュース1ℓペットボトル
- ・POMブルーベリージュース1ℓペットボトル
- ・POMフルーツミックスジュース1ℓペットボトル

■応募方法

対象商品(ラベルに告知のある商品)のラベル表面にある応募マーク5枚を一口でご応募ください。マークを点線部分で切り取って、郵便ハガキまたは応募ハガキ(ホームページからダウンロードできます)にテープなどでしっかり貼って、①〒、②住所、③氏名、④年齢、⑤性別、⑥電話番号を明記の上、応募してください。

■応募先

〒790-8799

愛媛県松山中央郵便局留

POMキャンペーン係

■応募締切

平成26年12月31日(当日消印有効)

■キャンペーン期間

キャンペーンラベル商品がなくなり次第、終了します。

■当選発表

厳正なる抽選の上、賞品の発送をもってかえさせていただきます。

キャンペーンの詳細は、(株)えひめ飲料ホームページで。

問い合わせは、POMキャンペーン事務局(TEL089-923-1529)まで。平日10時~17時で、土・日・祝日は除きます。

のんで! あつめて!

応募期間 2014 12/31 まで

ポンジュース生誕45周年 こだわりギフトプレゼント

抽選で1,000名様に
プレゼント!
対象商品はこの5品!

対象商品の応募マーク5枚1口で
1,000名様に当たる!!

45周年オリジナルクオカード & POM商品詰め合わせ

ポンジュース500mlペットボトル1本、アップルジュース1ℓペットボトル1本、グレープジュース1ℓペットボトル1本、ブルーベリージュース1ℓペットボトル1本、フルーツミックスジュース1ℓペットボトル1本、POM製品詰め合わせ(計17本)1箱、ポンジュースグミ(36g)2袋、応募オリジナルクオカード(500円)1冊

※抽選は12月31日(金)午後12時までに抽選完了となります。

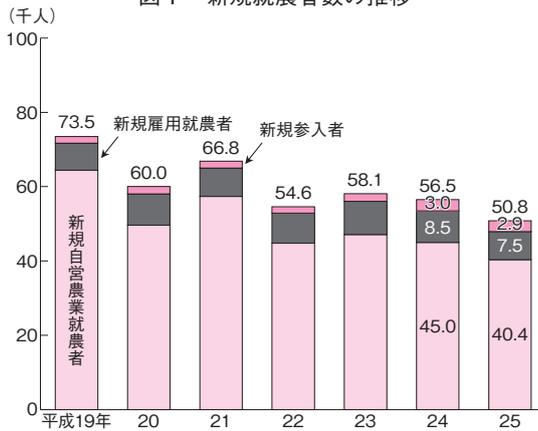
（株）えひめ飲料



統計BOX

新規就農者は全国で5万810人 — 平成25年新規就農者調査結果の概要から —

図1 新規就農者数の推移



平成25年の全国の新規就農者は5万810人で、前年に比べて5、670人（10%）減少しました。就農形態別にみると、新規自営農業就農者は4万370人で、4、610人（10%）、農業法人等に新たに雇用された新規雇用就農者は7、540人で、950人（11%）、土地や資金を独自に調達し、新たに農業経営を開始した新規参入者は

新規就農者は前年より減少

農業就業人口の減少と高齢化が進む中、食料の安定供給を確保し、農業の持続的な発展を図っていくためには、新規就農者を確保し、その育成を図ることが重要です。そこで今回は、将来の日本の農業を担う新規就農者についてみていきます。

農

業就業人口の減少と高齢化が進む中、食料の安定供給を確保し、農業の持続的な発展を図っていくためには、新規就農者を確保し、その育成を図ることが重要です。そこで今回は、将来の日本の農業を担う新規就農者についてみていきます。

新規参入者の7割が49歳以下

一方、新規参入者2、900人について年齢階層別にみると、49歳以下が2、050人と最も多く、全体の7割を占めています。23年までは約1千人で推移していましたが、青年就農給付金事業を開始した24年に2千人を超え、25年も同水準となっています（図3）。

就農を総合的にサポート

新規就農者のほとんどが「技術の習得」を課題としています。新規参入者にとっては、これに加えて「資金の確保」や「農地の確保」が大きな課題となっています。こうした就農時の不安や悩みを解消し、安心して農業を始め、さらに継続していけるよう、農林水産省では農業を始める人を総合的に支援しています。24年度に創設された「青年就農給付金事業」は、就農前の研修期間（2年以内）及び経営が不安定な就農直後

図2 年齢階層別新規就農者数

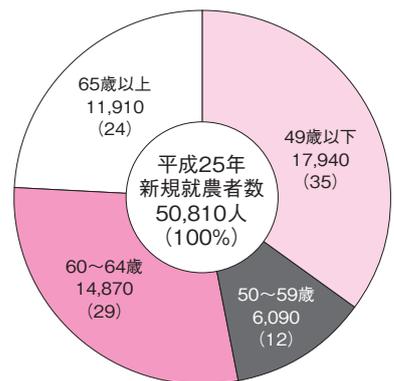
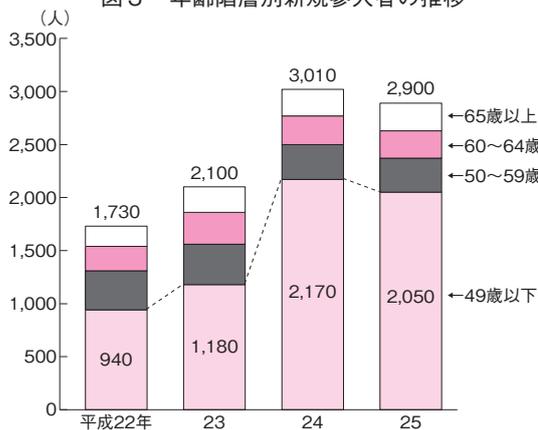


図3 年齢階層別新規参入者の推移



（5年以内）の所得を確保する給付金を給付するものです。また、法人での雇用を支援する「農の雇用事業」も24年度から助成期間を1年から2年に延長するなど、さらに支援を強化しています。

中国四国農政局
松山地域センター農政推進グループ

JA全農えひめグループ7社 平成26年度役員体制

JA全農えひめグループ7社は、6月以降株主総会・取締役会を順次開催し、平成26年度の役員体制を決めました。

3社で代表取締役社長が交代し、JAえひめアイパックス(株)は峰岡茂夫社長、(株)えひめライス(株)は松田一人社長、JAえひめ物流は高橋勉社長がそれぞれ就任しました。

各社の新体制は、次のとおりです(9月1日現在。※は新役職・新任)。

JAえひめアイパックス(株)

- 代表取締役社長 ※峰岡 茂夫(常勤)
- 常務取締役 ※森川 威久(常勤)
- 常務取締役 中川 達也(常勤)
- 取締役統括本部長 篠藤 英二(常勤)
- 取締役 岡本 健治
(非常勤・全農経営管理委員会副会長)
(全農愛媛県本部運営委員会会長)
<JAえひめ中央>
- 取締役 田坂 實
(全農愛媛県本部運営委員)
<JAおちいまばり>
- 取締役 菊地 秀明
(非常勤・全農愛媛県本部運営委員)
<JA愛媛たいき>
- 取締役 諏訪 玄
(非常勤・全農愛媛県本部県本部長)
- 取締役 ※小越 慎介
(非常勤・全農愛媛県本部副本部長)
- ◇監査役 ※戸田 耕二
(非常勤・全農愛媛県本部運営委員会副会長)
<JA周桑>
- ◇監査役 黒田 義人
(非常勤・全農愛媛県本部運営委員)
<JAえひめ南>
- ◇監査役 日山 正彦
(非常勤・全農監査主任者)

(株)えひめ飲料

- 代表取締役社長 高原 茂(常勤)
- 専務取締役 ※濱本 泰久(常勤)
- 常務取締役 川田 永治(常勤)
- 常務取締役 ※森實 光夫(常勤)
- 取締役 岡本 健治
(非常勤・全農経営管理委員会副会長)
(全農愛媛県本部運営委員会会長)
<JAえひめ中央>
- 取締役 高月 初彦
(非常勤・全農愛媛県本部運営委員)
<JAにしようわ>
- 取締役 黒田 義人
(非常勤・全農愛媛県本部運営委員)
<JAえひめ南>
- 取締役 諏訪 玄
(非常勤・全農愛媛県本部県本部長)
- ◇常勤監査役 藤田 敬二(常勤)
- ◇監査役 田坂 實
(非常勤・全農愛媛県本部運営委員)
<JAおちいまばり>
- ◇監査役 菊地 秀明
(非常勤・全農愛媛県本部運営委員)
<JA愛媛たいき>
- ◇監査役 望月健太郎
(非常勤・全農グループ会社統括部長)

(株)えひめフーズ

- 代表取締役社長 長尾 博文(常勤)
- 取締役製造部長 阿部 祥二(常勤)
- 取締役 高月 初彦
(非常勤・全農愛媛県本部運営委員)
<JAにしよう>
- 取締役 高原 茂
(非常勤・(株)えひめ飲料代表取締役社長)
- 取締役 諏訪 玄
(非常勤・全農愛媛県本部県本部長)
- ◇監査役 藤田 敬二
(非常勤・(株)えひめ飲料常勤監査役)
- ◇監査役 高橋 誠治
(非常勤・(株)えひめ飲料管理課主幹)

JAえひめ物流(株)

- 代表取締役社長 ※高橋 勉(常勤)
- 常務取締役 清水 宇造(常勤)
- 取締役 石川 邦彦
(非常勤・全農愛媛県本部運営委員)
<JAうま>
- 取締役 田坂 實
(非常勤・全農愛媛県本部運営委員)
<JAおちいまばり>
- 取締役 岡本 健治
(非常勤・全農経営管理委員会副会長)
(全農愛媛県本部運営委員会会長)
<JAえひめ中央>
- 取締役 菊地 秀明
(非常勤・全農愛媛県本部運営委員)
<JA愛媛たいき>
- 取締役 高月 初彦
(非常勤・全農愛媛県本部運営委員)
<JAにしよう>
- 取締役 黒田 義人
(非常勤・全農愛媛県本部運営委員)
<JAえひめ南>
- 取締役 諏訪 玄
(非常勤・全農愛媛県本部県本部長)
- ◇監査役 高原 茂
(非常勤・(株)えひめ飲料代表取締役社長)
- ◇監査役 岡村 伸六
(非常勤・全農監査主任者)

JAえひめフレッシュフーズ(株)

- 代表取締役社長 幸地 慎一(常勤)
- 常務取締役 西 尊公(常勤)
- 取締役 石川 邦彦
(非常勤・全農愛媛県本部運営委員)
<JAうま>
- 取締役 加藤 尚
(非常勤・全農愛媛県本部運営委員)
<JA西条>
- 取締役 諏訪 玄
(非常勤・全農愛媛県本部県本部長)
- 取締役 ※小越 慎介
(非常勤・全農愛媛県本部副本部長)
- ◇監査役 山口 恒朗
(非常勤・全農愛媛県本部運営委員)
<JAひがしうわ>
- ◇監査役 岡村 伸六
(非常勤・全農監査主任者)

(株)ひめライス

- 代表取締役社長 ※松田 一人(常勤)
- 常務取締役 河野 哲也(常勤)
- 取締役 加藤 尚
(非常勤・全農愛媛県本部運営委員)
<JA西条>
- 取締役 ※戸田 耕二
(非常勤・全農愛媛県本部運営委員会副会長)
<JA周桑>
- 取締役 岡本 健治
(非常勤・全農経営管理委員会副会長)
(全農愛媛県本部運営委員会会長)
<JAえひめ中央>
- 取締役 山口 恒朗
(非常勤・全農愛媛県本部運営委員)
<JAひがしうわ>
- 取締役 小越 慎介
(非常勤・全農愛媛県本部副本部長)
- ◇監査役 菊地 秀明
(非常勤・全農愛媛県本部運営委員)
<JA愛媛たいき>
- ◇監査役 岡村 伸六
(非常勤・全農監査主任者)

JAえひめエネルギー(株)

- 代表取締役社長 峯本 耕典(常勤)
- 専務取締役 佐伯 和俊(常勤)
- 取締役管理本部長 越智 哲也(常勤)
- 取締役オート事業部長 楠 富夫(常勤)
- 取締役ガス事業部長 本田 拓也(常勤)
- 取締役 諏訪 玄
(非常勤・全農愛媛県本部県本部長)
- 取締役 小越 慎介
(非常勤・全農愛媛県本部副本部長)
- ◇監査役 日山 正彦
(非常勤・全農監査主任者)



世の中、まんざら 捨てたもんじやない、創立期

平成20年の初春。私は人生の舵を想像もしていなかった世界に向けて切ろうとしていました。これから起こるとつもない嵐のことを考える冷静さなど持ち合わせていない、ただただ血気に逸るおばさんでした。

当時仕事としていた『うつ病の人のための職場復帰支援』は利用に条件がありました。厚生労働省の事業だったため「利用者は厚生年金雇用保険加入者に限る」という条件です。つまり保険の種類により同じうつ病でも支援を受けられない人が沢山いたのです。「そんなバカな！」小さな正義の火が心に灯りました。

更にちようどその頃、職場は独立行政法人化により数値評価が強化されてきていました。一人の人への支援成果よりも何人の人に支援をしたのが重要になってきたのです。一人ひとりへの手厚い支援がしたい私にとって、違和感や否めませんでした。「誰でも必要な人に支援を提供したい」「自分が

納得できる支援がしたい」という思いは強くなり、ついに退職して起業することを決意したのです。

ですが、思うは易く行うは難しです。その後、起業の為に参加した創業塾で、私はあまりに無知な自分を思い知らされます。利益の大きさを競う経営ゲームで、ドッジボール開始と同時にボールを当てられ退場になった選手よろしく私はあつという間に無一文になりゲームから抜け落ちました。まるで赤子のような無知な私。普通の人ならここで思いとどまるのでしょうか、「人の力を借りて経営するという方法もあるよ」という講師の言葉に、どこまでも能天気なおばさんは「そうか、そんな方法があるのか！」と膝を叩き、船出してしまったのです。それは、6年前の5月。同じ職場のメンバー3人でのNPO法人こころ塾設立でした。

でもやはり楽道家というだけでは、経営者は務まりません。あつという間に資金の底が見えてきて、戸惑いと焦

村松 つね

TUNE MURAMATU

特定非営利活動（NPO）法人こころ塾 代表理事。1955年4月生まれ。静岡県出身。東京学芸大学卒業後、横浜市立聾学校・養護学校教諭を務め、夫の実家・松山市へ。1995～2005年、脳骨髄移植推進財団（骨髄バンク）コーディネーター。1996年から11年間、独立行政法人高齢・障害者雇用支援機構 愛媛障害者職業センターにて、就職支援を担当。うつ病休職者の支援では、支援の有無が家族の崩壊や命に関わると、2008年5月NPO法人こころ塾を設立。独立行政法人高齢・障害者雇用支援機構のリワークプログラムを、より実践的な週5日間模擬会社として提供。うつ病当事者会・家族会を開催し、課題支援に取り組む。国の緊急自殺対策による多くの市町の事業に積極的に関わり、愛媛県の委託事業では5年連続ラジオ特別番組を放送。2013年度の講演140回以上、受講者は約8,000人。2014年度は厚生労働省及び県委託の自殺防止対策事業を実施。

2013年度 東温市精神保健福祉協議会委員。2014年度 松山市自殺対策推進委員会委員。認知療法学会会員。集団認知行動療法研究会会員。



▲平成20年5月の設立式典。誰でも必要な人が必要で支援が受けられる場所、来ただけでホッとできる場所を開設

りで、仲間を責め自分を責める日々となりません。堅いと思っていた3本の矢の結末は簡単に切れ、バラバラになって空中分解しました。真つ暗な部屋に一人残り、2人の夢を壊した自分。リーダーになどなるべきではなかった自分と向き合います。「私も辞めたい」。でも既にこころ塾へのうつ病に関する相談電話は鳴り続け、逃げることもできなくなっていました。

そんなある日、経営者が集う場で話す機会を与えられました。泣きながら、ダメな経営者としての自分の情けなさや人が去っていった辛さを語る私に、先輩の皆さんが言ってくれたのは「最初はみんな1年生。経営者だって勉強していけばいいんだよ」という言葉でした。このままでは潰れそうな私を心配してあえて作ってくれた、辛さを語る場。そこでの一人ひとりの言葉は心にしみ、温かくて、ありがたいものでした。

途方に暮れていた私に一条の光です。これからでも、勉強をすればいいです。50年間、大きな失敗もなく、好きな仕事につき、家庭を設け、順風満帆に思える人生を歩いてきた私の、初めての挫折。人をひどく傷つけ、自分も傷ついた体験、同時に、人の優しさと温かさを知った体験です。

世の中、まんざら捨てたもんじゃありません。人生はまんざら捨てたもんじゃありません。ホラ、今泣いたカラスが、もう笑った。このおばさん、懲りない人なんです。



▲大勢の人との出会いの中で笑顔と多くの学びをいただき、心の元気あふれる愛媛づくりのために奔走中！

んだ！ 無能で軽率なおばさんは、それでも前向きという長所も持っていました。

さて皆さんの一通りの優しい言葉の後で、ある年配の経営者の人が私を見て言いました。「だがしかし、経営者たるもの外で涙を見せては、絶対ダメだ！ 泣くな!!」

その言葉に「ハイ！」と答えつつも次から次へと流れ出る涙は、自分でもどうしようもありません。目と鼻から流れ出るズルズル、グチュグチュ。どうしようもなくみっともない姿は、どうしようもない私そのままです。

それ以来、経営者たるもの人前で泣くな！ という教えを何とか実践しようとしている私ですが、人の温かさに触れるとすぐ緩む涙腺は治らないままです。このエピソードを文字に起こしている今も、思い出してホラもう涙…。

●愛媛県民間流通麦地方連絡協議会

日本一のはだか麦の作付拡大と良品質麦安定生産を！

J A全農えひめ食糧生産課は、7月25日松山市のJ A愛媛で愛媛県産麦の円滑な流通をめざし、愛媛県民間流通地方連絡協議会を開きました。

会議には、精麦や製粉、醤油・味噌関連の実需者と生産者・J A・県関係者ら47人が出席。26年産の販売見込数量や27年産の販売予定数量を確認するとともに、愛媛県産麦に対する意見交換を行いました。

27年連続生産量日本一（25年産実績）の愛媛県産はだか麦は、17年以降、購入希望数量が販売予定数量を上回る状況が続きましたが、作付面積の伸び悩みと天候不順等により需要に応じた数量を供給ができなかったことなどから実需者の代替品目への転換等が進んだため、26年産から購入希望数量が販売予定数量を下回る状況となっており、27年産は、販売予定数量4,787 tに対して購入希望数量は4,664 tとなっています。

こうした中で、J A全農えひめでは、新たな需要や販路拡大を図るとともに、実需者ニーズに対応するため販売予定数量の安定供給と良品質麦の生産に取り組んでいます。また、有望品種の「ハルヒメボシ」について実需者の協力を得て加工適性の検証を進めながら中長期的な導入・拡大に取り組んでいます。

会議では、実需者から「はだか麦は味噌を中



心に根強い需要がある」として、安定した品質と数量確保の要望のほか、「ハルヒメボシ」への期待の声が出されました。

27年産小麦は、販売予定数量477 t、購入希望数量607 tとなっています。

なお、26年産は収穫時期が好天に恵まれ、集荷数量は4,569 t（前年比106%）。1等比率は80%（前年88%）と品質は良好でした。11月中旬以降に播種時期を迎えた圃場で播種作業の遅れや出芽不良、12月以降の播種では低温による初期生育量不足により一部で穂数が少なくなったことなどから、当初見込みの5,328 tを下回りました。

小麦も同様に順調な収穫となり、集荷数量は499 t（前年比111%）、1等比率が82%（前年75%）と品質は良好でした。

●愛媛県TAC管理者・TAC合同研修会

福岡県・J Aにじの取り組み事例などを学ぶ

J A全農えひめ営農振興課は、TAC活動の充実とレベルアップにつなげようと、6月9日、松山市のJ A愛媛別館で「愛媛県TAC・TAC管理者合同研修会」を開きました。

TACとは、出向く営農に取り組むJ A担当者の愛称。「とことん会ってコミュニケーション」を合言葉に活動しています。

研修会には6 J AのTAC管理者・TACなど47人が参加。全国のTAC情勢報告、J A全農ふくれんとJ Aにじの取り組み事例発表、J A愛媛県信連から農業制度資金についての情報提供、各J Aから今年度の取り組み方針・内容と担い手に対する支援の状況などの報告のほか、今後のTAC活動について意見交換しました。

福岡県のJ Aにじ作物振興課の林広明課長からは、訪問活動を通じて新設法人に新規品目として、米・麦・大豆の農閑期の収穫で初期投資が少なく、比較的需要と価格が安定しているハウレンソウを提案。機械化による播種作業の省



力化や新規作物導入などへの支援・取り組みとその成果、規模拡大と大量生産をめざした新たな販売チャンネルや六次産業化の取り組み事例を学びました。

愛媛県内では、今年度8 J Aで82人のTACが活動中。全国大会で数多く表彰されるなど全国的にも高レベルの活動が評価されています。

●平成26年産夏秋野菜中間検討会

生産・出荷量確保と品質の維持に向けた取り組みを確認

J A全農えひめ野菜花卉課とJ A愛媛野菜生産者組織協議会は、天候不順が続く中、夏野菜の出荷量の落ち込みを受け、8月26日、松山市のJ A愛媛で、主力のキュウリ・トマト・ナス・ピーマンを対象に中間検討会を開き、今後の出荷量確保に向けた生産対策を協議しました。

県内では、梅雨期の曇天・低温により全般的に生育が遅れたことに加え、梅雨明け後の台風・日照不足により前年を下回る出荷が続き、6月から8月中旬までの主力4品目の出荷量が前年比86%、今シーズンの出荷量が当初計画の8割程度に落ち込む見通しであることから、中間検討会を開いたものです。

会議には、生産者代表と京阪神・県内の市場、県内J A・J A全農えひめなど関係者30人が出席。今後の販売情勢と産地の作柄・出荷計画を確認するとともに、樹勢回復と防除の指導を徹底し、生産量の確保と品質の維持に向けて取り組むことを確認しました。

.....

今シーズンの夏秋野菜の販売は、7月の海の日前後から台風8号による特売需要の減少や市場入荷量の増大を受けて厳しい相場展開が続きました。



こうした中、7月23日には松山市で、J A愛媛野菜生産者組織協議会企画委員会主催で「消費拡大・夏秋野菜対策会議」を開催。夏秋野菜主力4品目について、盆期までの生産予想及び販売情勢など産地と市場の情報共有を図るとともに、県外市場担当者を対象とした圃場視察研修を実施しました。

また、消費宣伝活動では、7月中旬に県内で量販店連携販促を展開するとともに、海の日以降は関西地区を中心に「愛媛フェア」として集中販促を実施。厳しい販売情勢を受けて、盆期までに計画していた販促（のべ40店舗）に加え、24店舗で緊急販促等を実施し、えひめ野菜の売り場確保と販売促進に努めました。

●第25回J A愛媛畜産技術者連絡協議会 総会

愛媛の畜産振興と銘柄化の促進めざす

J A愛媛畜産技術者連絡協議会（11J A・28会員）は、8月4日、松山市のJ A愛媛で第25回総会を開き、26年度事業計画と新役員体制を決めるとともに、「TPPに関する国会決議の実現を求める特別決議」を採択しました。

26年度は、愛媛の畜産振興と銘柄化を促進するため、消費者との連携・合意形成づくりと販売・流通体制の強化、防疫管理と記帳管理の徹底指導、担い手対策として後継者の育成、TPP等に対して関係団体と連携し積極的な取り組み、情報収集と技術指導等を通じて農家経営の安定に取り組むことを確認しました。



役員改選では、新たに西本孝次会長（J A松山市）など新体制を選任しました。

●平成25～26年産いちご出荷反省会

出荷量は前年比93%、kg単価は100.4%

J A 愛媛野菜生産者組織協議会と J A 全農えひめ野菜花卉課は、7月15日、松山市の J A 愛媛別館で、平成25～26年産いちご出荷反省会・生産対策会議を開きました。

愛媛産のいちご販売実績は、出荷量が1,009 t（前年比93%・計画比89%）、kg単価902円（前年比100.4%）でした。

県内でも数量確保と有利販売に向け、25～26年産から統一規格として270 g パックに量目変更しましたが、混乱もなくスムーズな流通ができたこと、次年度対策として品格向上や品種特性に高温期・厳寒期の品質保持、増量期を見据えた分荷対策の検討、情報連絡体制の強化、企画販売の拡充、計画的な販促活動などが報告されました。

25～26年産いちご販売は、全国的に前倒し傾向の出荷となり、昨年11月下旬から各産地とも増量する中で、量販店では売価設定の高いいちごは品揃え程度で売り場が広がらず弱含みの展開となり、12月中旬以降はそれまでの反動で予想を下回る入荷となり、クリスマス・年末需要で業務筋を中心に引き合いが強まる中、相場



は上昇。各産地とも小玉傾向だったことから特に大玉を中心に高騰しました。

年明け以降は、年末の高値により売り場が広がらず荷動きも鈍く苦しい場面も見られましたが、1番果と2番果の端境期を迎え数量減となり高値販売となり、バレンタイン需要もある中で、品薄感が強く堅調な販売となりました。3月からは各産地とも一気に増量し、厳しい販売が続きましたが、4月2週目以降は落ち着いた入荷で堅調な販売となりました。

●平成26年度 J A えひめ葬祭協議会理事会

研修活動等を通じて総合的なレベルアップめざす！ ～第2回クリーンリネスコンテスト最優秀賞の J A 周桑を表彰～

えひめ葬祭協議会は、7月11日(株)ジェイエィえひめ中央ルミエール伊予で、平成26年度理事会を開きました。会員 J A など37人が出席し、26年度事業計画などを決めました。

県内の J A では、現在、19の葬祭会館が運営されており、同協議会では、県内 J A 葬祭事業の総合的なレベルアップを図り、組合員・会員利用者の負託にこたえるため、葬祭拠点の整備、教育研修活動や協同活動などに取り組んでいます。

26年度の事業方針では、J A の総合事業、組合員の生活サポート事業の一環として位置づけ、組合員・地域の要望に応えられるよう、体制整備や事業展開の核となる拠点整備を推進するとともに、運営実態調査による情報の共有化、各種教育研修活動の段階的实施、共同仕入れ活動等の協同活動のステップアップ、新規サービスの研究、広報活動等に積極的に取り組みます。



なお、25年度に実施した第2回クリーンリネスコンテストの表彰式が行われ、最優秀の J A 周桑ルミエール周桑東館、優秀賞の(株)ジェイエィにしゅうわルミエールにしゅうわ、(株)コスモスプリエール川之江が表彰されました。

●愛媛県農業用廃プラスチック適正処理推進協議会 理事会 26年度は再生処理率96%を計画

愛媛県農業用廃プラスチック適正処理推進協議会は、8月5日、理事会を開き、平成26年度事業活動計画を決めました。

県内の農業用廃プラスチックの回収量は、平成13年度の1,986トンピークに減少傾向となっており、平成25年度は719t（計画比91%）。うち再生処理（リサイクル）率は、25年度94%となり、地区協議会によるチラシ等を使った啓蒙活動により、23年度以降3年連続90%以上と高い水準を維持しています。

26年度も引き続き県・地区段階それぞれで関係機関が連携して、啓蒙・指導活動を行い、農家の「排出事業者責任」の認識を高め、効率的・安定的な回収システムの確立を図ります。再生



処理率は96%を計画。重点事項として、啓蒙推進活動のほか、再生化率向上に係る調査と回収・輸送システムの改善、処理委託先の選定と計画的回収体制の確立、排出抑制対策などに取り組みます。

●ファーマーズマーケットいよっころ 親子料理教室で楽しい思い出と地産地消を！

伊予市下吾川のJAえひめアイパックス(株)ファーマーズマーケット「いよっころ」は、7月29日、伊予市の生涯学習センターさざなみ館で、親子料理教室「我が家・私の自慢『夏野菜料理』コンテスト」を開きました。

親子料理教室は、地元野菜の魅力をもっと知ってもらい地産地消を推進し、夏休みの楽しい思い出を作ってもらおうと開いているもので、今回が5回目。伊予市と松前町の7組20人が参加。当日の朝、「いよっころ」で購入した夏野菜などを使って、家族が協力して自慢料理を作りました。

参加した3歳から小学2年生までの子どもたちは、保護者とともに料理づくりを楽しみ、できあがった料理に思い思いの名前を付けていま

した。試食では、「美味しい」を連発。保護者がこだわった点や美味しく作るコツを披露し、参加者と「いよっころ」運営協力会の役員らが好みのカレー3品を投票し、各賞を決めました。



●JA愛媛耐久消費財拡大協議会第34回通常総会 環境関連機器の取り扱い強化

JA愛媛耐久消費財拡大協議会は、7月15日、JA愛媛で第34回通常総会を開き、平成26年度の活動計画を決めました。

26年度活動計画では、太陽光発電システム・省エネをテーマとした環境関連機器の取り扱いを強化し、組織的提案活動を展開します。また、組合員に健康で便利な暮らしを提案するため、新規商品・健康商品を中心に提案するほか、情報収集体制の整備、組合員ニーズに対応した確かな提案活動を行うために職員の教育・研修活動を実施します。



今月の素材
栗



料理にも上品な甘さが加わる
愛媛の栗は全国3位の生産量

▶(左) 栗の中華風筑前煮、(中) 鯖の芝蒸し、(右) 栗のみぞれ和え



指導/学校法人愛媛学園 (愛媛調理製菓専門学校) 大佐古正子先生

栗の中華風筑前煮

〈材料・4人分〉 ※1人あたり約369kcal

栗	12個
鶏モモ肉	200g
里芋	2個
ゴボウ	1本
人参	1/2本
椎茸	4個
インゲン豆	8本
ニンニク(みじん切り)	1かけ
ショウガ(みじん切り)	1かけ
サラダ油	大さじ1
鶏がらスープ	600cc
酒	大さじ2
砂糖	大さじ1
① ミリン	大さじ3
② オイスターソース	大さじ1
濃口醤油	大さじ2
水溶性片栗粉	適量
ゴマ油	大さじ1
白髪ネギ	1/2本
糸唐辛子	適量

- 〈作り方〉
- 栗は鬼皮と洗皮をむく。
 - 鶏肉はひと口大に切る。
 - 里芋は8つ切り、ゴボウと人参は乱切り、椎茸は半分切る。
 - インゲン豆は3~4cmに切り、茹でて冷水にとる。
 - フライパンに油を熱し、ニンニクとショウガを炒め、香りが出たら、②を炒め、①③を加え炒める。
 - スープを加えて沸けばアクをとり、④を入れ弱火で野菜が柔らかくなるまで10~15分程煮る。
 - ⑥を加えてさらに煮込み、水溶性片栗粉でとろみをつけ、④とゴマ油を加え混ぜる。
 - 器に盛り、ネギと唐辛子を盛る。

鯖の芝蒸し

〈材料・4人分〉 ※1人あたり約194kcal

鯖(鯛などの白身でも可)	4切
塩	少々
栗	8個
卵白	1個分
片栗粉	大さじ1
シメジ	1/2パック(約50g)
三ツ葉	1/2束
人参	1/5本
だし	300cc
① 塩	小さじ1/4
② ミリン	小さじ1
薄口醤油	小さじ1
水溶性片栗粉	適量
ショウガ汁	少々

- 〈作り方〉
- 鯖は塩を振り、5~10分程置き、水気が出てきたら水で洗い、水気を拭き取る。
 - ①を5分蒸す。
 - シメジは石づきをとって小房に分け、人参は輪切りにし、それぞれ茹でる。
 - 三ツ葉は茹でて5cmの長さに切る。
 - 栗は皮をむき、2mm厚に切る。
 - ボウルに卵白をしっかりと泡立て、片栗粉を加えて混ぜる。⑤を加え混ぜ、②の上のせて8~10分蒸す。
 - 鍋に④を沸かし、水溶性片栗粉でとろみをつけ、ショウガ汁を絞り、銀あんを作る。
 - 器に⑥③④のをせ、⑦の銀あんをかける。

栗のみぞれ和え

〈材料・4人分〉 ※1人あたり約229kcal

栗	8個
クチナシ	1個
①(シロップ)	
水	200cc
砂糖	110g
むきエビ	12尾
エリンギ	1パック
人参	1/4本
甘長唐辛子	2本
②(浸しダシ)	
ダシ	400cc
塩	小さじ1/3
ミリン	少々
薄口醤油	少々
大根おろし	1/3
③(甘酢)	
水	大さじ3
砂糖	大さじ1
酢	大さじ1
塩	ひとつまみ

- 〈作り方〉
- 栗は鬼皮と洗皮をむき、クチナシを入れた湯で茹でて、色付けは取り出して④で炊き、半分に分ける。
 - 沸かした⑥にエビを入れて火を通し、つけたまま冷やす。
 - エリンギは3cmの長さの短冊切り、人参は千切りし、鍋に②の⑥を沸かして火を通し、つけたまま冷やす。
 - 唐辛子は縦半分に切り、種は取り出してさつと茹で、冷水に取り、水気を切り、③の⑥につける。
 - 沸いた湯に大根おろしを入れ、すぐクッキングペーパーを敷いたザルにあげ、冷やす。
 - ①②③の水気を切り、⑤と④で相える。
 - ⑥を器に盛り、④を添える。

あひめどら! ポンジュース 45th

のんで! あつめて!

応募期間 2014 12/31 まで

買って!! 飲んで!! 集めて!!

ポンジュース生誕45周年 こだわりのギフトプレゼント

対象商品の 応募マーク 5枚1口で

1,000名様に当たる!!

45周年オリジナルクオカード & POM商品詰め合わせ

キャンペーンの情報は こちらから

http://www.ehime-inryo.co.jp

株式会社 えひめ飲料

〒791-8603 松山市安城寺町478番地

TEL: 089-923-1527 FAX: 089-924-0304

対象商品

- ポンジュース 1Lペットボトル
- ポンジュース 500ml ペットボトル
- アップルジュース 1Lペットボトル
- グレープジュース 1Lペットボトル
- フルーツミックスジュース 1Lペットボトル

応募マーク5枚1口で応募できます!



今年もおいしい新米ができました。
ひめライスの新米を食べて
えひめの恵みを当てましょう。

えひめの人は、
えひめの新米。

ひめライス新米キャンペーン
イメージキャラクター
友近

ひめライス新米キャンペーン
合計700名様に当たる!
ひめライスを食べて、えひめの恵みを当てよう!

【キャンペーン応募期間】2014年8月25日(月)～10月31日(金)



A コース 10名様に
2kg分以上
112円未満
伊予牛「絹の味」
黒毛和牛焼肉用ロース 約500g



B コース 10名様に
2kg分以上
112円未満
ふれ愛・爨ポーク
しゃぶしゃぶ用 豚ロース 約1kg



C コース 10名様に
2kg分以上
112円未満
燻っご地鶏
丸鶏ローストチキン用 約1.6kg



D コース 10名様に
2kg分以上
112円未満
きじ鯛・きじ飯セット
〈きじ鯛〉きじ肉150g、つみれ6個、味付スープ
〈きじ飯〉きじ肉100g、味付スープ



E コース 10名様に
2kg分以上
112円未満
健康真鯛 手造り鯛めし
鯛めしセット 5人分



F コース 10名様に
2kg分以上
112円未満
釜あげしらす
約1kg



G コース 10名様に
2kg分以上
112円未満
紅まどんな
Lサイズ 約15玉



H コース 10名様に
2kg分以上
112円未満
あまおとめ
約270g×4パック



I コース 10名様に
2kg分以上
112円未満
宇和島じゃこ天
じゃこ天 10枚、蒲鉾 2本セット



J コース 10名様に
2kg分以上
112円未満
七折小梅
約1kg、化粧箱入り

〔応募方法〕ひめライスの米袋左上に貼られている「ひめマーク」を切り取り、2kg分以上1枚1口(もち米1.4kgなら1枚1口)としてご応募ください。応募ハガキまたは郵便ハガキにご希望の賞品コース(A～Jコース)を1つ選択し、郵便番号、住所、氏名、年齢、電話番号、購入店、ひめライスに対するご意見・ご感想を明記の上、ご応募ください。※お一人様何口でも応募いただけますが、1通につき1口とさせていただきます。



〔対象商品〕ひめライス全商品(もち米含む)
〔応募先〕〒791-3163 伊予郡松前町大字徳丸字五郎敷771-25
株式会社ひめライス「新米キャンペーン」係
〔応募締切〕平成26年10月31日(金)当日消印有効
〔当選発表〕厳正なる抽選の上、賞品の発送をもって当選発表に
かえさせていただきます。

※上記にはイメージ写真や調味料が一部含まれています。※賞品は写真と色、デザイン等が異なる場合があります。あらかじめご了承ください。

Wチャンス
さらにはずれた方の中から抽選で600名様に
「愛媛県産にこまる」(2kg)プレゼント!
600名様に当たる!

